

態を見ないこと」という主旨の意見書が上げると聞いている。最低のセーフティネットである生活保護を敵視して、申請を受け付けない「水際作戦」も強まっている。それを許さず目を届かせる運動を府職労のみならずとも連携したい。

府民の要求に応える住宅政策を



借家人連合会 大阪借地組合 船越康巨さん

大阪府が遠くなったと感じている。気軽に府民が来られるような組織にしないといけないと思う。府営住宅は、2015年度には1万4千戸が大阪市営住宅となるし、大阪府は新しく住宅を建てないし、管理も民間へ移してしまう動きもある。このままでは「住宅まちづくり部」という名称もなくなるのではないかと危惧している。大阪府は全国に誇れる住宅政策を担ってきた実績がある。府民の住宅要求は大きい。府営住宅の申し込みが減っているのは不便なところしか募集していないからであり、ニーズとずれている実態がある。そういう意味でも府営住宅政策が大切である。



全大阪消費者団体連絡会 飯田秀男さん

ことになった。大都市圏では初めてのことであり、幅広い共同が広がっていると感じる。再生エネルギー活用は、府民を対象に小さな地域ごとにつくるべきである。府の予算案で「機能性食品市場開発支援事業」が計上されているが、これは「特保(トクホ)」など、その食品にたいして国に科学的根拠を示して、有効性や安全性の審査を受けて表示されていたものが、企業が「効果がある」といえば表示を可能にし、健康食品の市場拡大を狙うものであり、問題があると考えている。消団連でも学習会を積み重ねている。

府民にとって良い図書館に



明日の中之島図書館を考える会 稲垣房子さん

府職労のみならずの大きな協力もあり、中之島図書館が存続となった。しかし、2015年を目途とした中之島ミュージアム計画も出されている。今後「これで良かった」となるかどうかは判断を許さない状況にある。都市魅力戦略本部会議では、中之島の建物だけの議論ではなく、府民にとっても良い内容であるかどうかの議論をしてほ

共同広げ消費者の声とどける

「ほんまにええの?」TPP大阪ネットワークーを結成する。そこにJA大阪中央会にも参加していただ

経済を「好循環」にすることが大切



大阪商工団体連合会 梶島あかねさん

大阪府は、成長する企業などもっと努力やチャレンジをするところには応援すると言っているが、これまでも業者は精一杯がんばってきた。これ以上、どのよ

うにがんばれというのか。融資制度についても予算計上されているが、相談に行っても「直接銀行に行ってください」と言われるなど、まじの業者が使えるものではないのが実態である。いろいろな問題の根本は「経済問題」であり、その経済を好循環にすることが大事だと思ふ。大阪府の部局には縦割りではなく横断的な対応してほしい。また、府職労とも懇談などを通じて、横断的な取り組みをしていきたい。

懇談会の最後にまとめと閉会あいさつを行った竹中副委員長は「大阪府の行政を担っている府職員と住民のみならずが率直に意見交換するのはとても大切なこと。『二重行政はムダ』と言われているが、国・府・市の三重の行政でしっかりと住民のいのちとくらしを守っていくことが本来の行政の役割だ。住民要求の実現に向けて一緒にがんばっていきましょう」と呼びかけました。

「さよなら原発 3・9関西総行動」に7000人



東日本震災と福島第一原発事故から3年を迎えようとする3月9日(日)、全国各地で統一行動がとりくまれ、扇町公園(大阪市北区)で「さよなら原発3・9関西総行動」がとりくまれました。府職労も参加する「原発ゼロの会」をはじめ、多くの団体・労働組合が集まり、会場は7

000人を超る人でいっぱいになりました。府職労からは約50人が参加し、「原発・安全神話もうケッコー」「原発なくしタイ」「原発再稼働そんなバナナ」「再稼働はイカんで」などのプラスターと「かぶりもの」でアピールし、元気にデモ行進しました。

草の根から 憲法と平和について考える 「9条の会」元気に活動

戦争・被曝の真実を 次世代に伝えよう!



「はだしのゲン」を鑑賞する「ほけんしよ9条の会」のみなさん

2月23日(日)に「はだしのゲン」のDVD鑑賞会を開催しました。少し残酷なシーンもありましたが、小さな子どももじっと画面に入り、終了後も余韻が残る有意義なつどいとなりました。「はだしのゲン」は原爆をテーマにした勇気と感動を伝える超ロングセラーです。「アンネの日記」ともに世界中の子どもたちに戦争の真実を伝える貴重な作品です。きなきしい動きの中、図書館での閲覧制限や心ない破損行為など、真実を抹殺するような事態がじわりじわりと進むなか、次世代に「9条の会」を伝えることが大切です。ほけんしよ9条の会ではDVDの貸し出しも行っていきます。ご希望の方は府職労保健所支部までお問合せください。

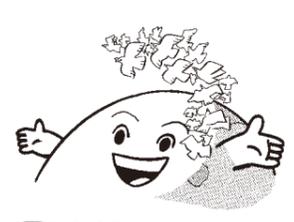
【参加者の感想】(抜粋) ●今さらですが、原爆投下から1週間足らずで終戦。当時の日本人はこの激動の時代をよくやりすごせたな

平和に関するクイズで大盛り上がり

どけん☆げん9条の会が「新春のつどい」

2月7日、「どけん☆どげん9条の会」が「第7回総会&新春のつどい」を行いました。この「どけん☆どげん9条の会」は、住宅まちづくり部・都市整備部の職員を中心に構成し、ともに平和な世の中となっていくよう、さまざまな活動を行っ

ていくことを目的に結成された。はや6年がたちました。はじめに「第7回総会」を行い、昨年度の総括も踏まえ、新年度の行動予定や役員体制について確認を行いました。引き続き行われた「新春のつどい」では、平和に



R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

あ...と思いました。残念ながら乗り越えられなかった方々が多かったことも悲しい気持ちでいっぱいですが、同じことを繰り返さないことを、私たちが学んでいけたらと思います。

●原爆投下で一瞬にして人間が殺される。家族もバラバラにされる。おなかの赤ちゃんや生き伸びた人も苦しめる。本当に戦争が起きないようになんて怖さや悲しさを伝えていきたいと思ふ。強く生きていくこと、核兵器がなくなる世界が実現するよう、これからも家族で平和のことを考えていきたいです。

●大事なことは何かを伝えてくれるメッセージ性の強い作品だと思います。町や学校の図書館にあったらいいです。兄弟どうして話題に上がったので、子どもなりに戦争反対のメッセージを受け取っていたと思います。政治は無理に無理を重ねて、ご破算(戦争)の方向に行っているように思ふ。その時に心から「反対」と意思表示できる人を1人でも多く作ってほしいです。